

学校名	氏名	スキー場及び雪崩事故現場周辺の講習会での講習会の利用の有無		事故現場斜面に関する雪崩の認識	
		有・無	実施年度	回答	内容
大田原高校	猪瀬 修一	記憶なし	有	今回、事故が起こった場所で雪崩の危険があるということは認識していました。(※H23~H28までの講習は行っていないと思います。事故が起きた場所はつまらないことは覚えていません)スキー場付近については、第2ゲレンデの上部においては、雪崩の危険性があると認識している程度でした。	H28年度春山安全登山講習会役員・講師について H28年度春山安全登山講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したか 主任講師については、年度初めの顧問会議において菅又教諭(真岡高校)にお願いすることを決定していました。 他の講師については、2月に実施要項をメールで配信し、3月上旬に参加申し込みが出来た本島(那須清峰高校)よりまとめてお願いしていただいた本島の案をいただき、私の方で、講師について今回引率してもらえる先生方の中で経験等を勘案して班分け案(各班の講師を含む)を提示し、決定したと思います。(例年そのような形で行っていました。) 27日については、3班の講師であつた関谷先生(矢板東高校)が公務のために前日に帰つていたので、私が、集合していた先生の中から沢村先生(矢板東高校)に代理をお願いしました。
さくら清修高校	後藤 尚	不明	有	訓練を行つたことがあります。何年前かははっきり記憶せんが、北前の高校の顧問が下見の担当をしていて、担当者としてスキー場に行き挨拶をしまた際に、那須町の職員の方からスキー場の方にはいけれど、「雪崩れたことがあるのがあります」には行かないように」と言っていた記憶があります。場所は天狗岩のある斜面のところです。雪崩の危険ではあるとの認識が発生する可能性があるのですが、天狗岩の斜面で雪崩が実施され、その場所では講習を行つては無かつたと思います。別の年に、今回の3日目の場所で講習を行つていますが、積雪が落ち積んでいたので雪崩の可能性はないとの認識で講習を行いました。	例年、専門委員および参加校の中の経験の長い顧問が役員・講師を務めていましたが、平成28年度の講師は当時の猪瀬委員長と那須清峰高校の本嶋先生が連絡を取り合はれておりません。
宇都宮東高校	島田 幹男	無	—	2007年から6回ほど参加していますが、今回の場所での訓練は行っていません。	私の場合は所属する宇都宮東高校に山岳部はありませんので、当然どこかの高校には講師として配属されると思つていました。ただ今回は体力的にみて女子隊の講師をお願いしますと猪瀬先生が参加する先生が印刷したと想ひます。今回の班ごとの主講師と副講師メンバーやはあくまでも26日(月)の講習会用であり妥当な選出と思われます。私は26日(月)は学校ごとの行動となっていました。当日予定が変更になり、懇親ですが26日の編制を元に講師を猪瀬先生が決めたのではないかと思います。

学校名	氏名	スキーコース及び雪崩事故現場周辺の講習会での利用の有無		事故現場斜面に関する雪崩の認識	H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したか	
		有・無	実施年度			
大田原女子高校	荒井 徹	有	H19 H26	平成19年度の講習会2日目で、今回の雪崩の事例現場湯沢付近に行つたことがあります。登山部報用の写真撮影している場所までの雪崩事故で、男子が講習を実施している班を離れ、男子が講習をする場所が今回の雪崩事故に付きました。男子の記憶では、郭公沢付近はツーシュが出ていていると感じます。平成19年度は雪が少なく、郭公沢付近はスキー場上部の雪の残っています。男報があるため、スキー場で各班で見つけた女子は樹林帯の上部で講習を行つていています。男子は樹林帯上部で、女子は樹林帯の上部で講習を行つて、女子はすべての班が樹林帯の上部で講習しました。男子の記憶では定かではありません。平成26年度の講習会2日目は、スキー場上部実施しましたかどうかの記憶は定かではありません。午前中はスキー場上部で講習を行いました。午後に峠の茶屋上部で講習を行いました。女子隊の講習内容は両年とも、歩行訓練、ピッケルを使つての制動訓練、フックスロープを使用つての歩行訓練を行っています。	今回事故のある場所について、雪崩の危険性があるとの話は聞いたことはありません。	平成29年2月または1月末に、講習会に参加できるか打診が猪瀬委員長よりメールでありました。校務の都合上参加を見合わせたいと連絡をしましたので、講習会の役員等にはついていません。その後、いつ、誰が、どのように役員・講師を決定したかは承知しておりません。
大田原女子高校	星野 記良	有	H26	春山安全講習会の2日目で私が主任講師、当時春岡女子校の顧問だった荒井徹先生と小林朋生先生が同じ班で、受講生は真岡女子高校の生徒たちでした。女子隊といふことあり「雪山に慣れ、補講技術を身につける」ということを主な目的にしたので訓練はスキー場で実施しました。前半はレンジテ内を広範囲に歩行しました。そして慣れてきた後半に、キックステップの訓練のため一本杉より低い場所の第2ゲレンデから樹林帯に入り、樹林帯を少し登つたと記憶しております。	今回雪崩が起きた場所での雪崩の危険性については、私は聞いた記憶はありません。	今回は私用で参加できなかつたこともあります。
宇都宮高校	池間 明徳	有	不明	震災前だつたと思うが、講師として第1ゲレンデの斜面で初心者グループの実技講習を行つた記憶がある。当時他の班がどこで講習をしていたかは不明。それ以外は、ここ十年、美技講習はほとんど郭公沢周辺で行わていたと思う。	講師決定の場に立ち会つたことはないのですが、本部が講師と担当する班を決めていたと思われる。その際、委員長や専門委員が合議したのか委員長判断だったのかはわからない。	

学校名	氏名	スキーコース及び雪崩事故現場周辺の講習会での利用の有無		事故現場斜面に関する雪崩の認識	H28年度春山安全登山講習会の講習会員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したか
		有・無	実施年度		
栃木高校	渡辺 浩典	有	前12年以上前	自分が雪崩の危険性を認識していった第2ゲレンデ横の斜面については、いつかはわからぬが、雪崩が起きた跡を見た記憶がある。また、上記と同じ時のどこかと思われるが、以下のところには記憶になかったが、警察でFAXのコピーを見せられた。下見に行った先生（当時矢板中央の[]先生）から雪崩が起きて危険なものと役場スキー場内には立ち入らないとの報告をFAXではスキー場の方から言われたとの報告である（警察で委員長である私が受け取ったようではなかった）。。	主任講師については、平成28年度第2回専門委員会において決定したと思われる。他の講師については、講習会への参加申し込み後に、専門委員長と講習会総務担当によって決定されたと思う。
さくら清修高校	吉澤 順一	有	H23	「今回の3日目の場所」がスキーコースのゲレンデを含むものとすれば、過去には第2ゲレンデ向かって左奥の斜面(標高1,380m付近)において、第2日の実技講習を講師として実施したことがある。当時の私の記録によれば、「私が担当した3班は矢板中央高校と足利高校のメンバーであつて下足高のA木先生と一緒に先生がサポートして下さいました。早朝から綿麗に晴れたちも皆悉く訓練ができました」とある。写真は、那須ファミリースキーフィールドにて雪上を走る生徒たちを遠望した一枚。」となる	平成28年4月15日(金)の第1回専門委員会・顧問会議において、下見・総務を本島先生(清峰高)、村長[]先生(矢中央高)、主任講師を菅又先生(真高)が務めることで決定した。同11月24日(木)の第2回専門委員会では、上記役員に加え、内容・日程・講演(講師)等に会議に出席していない。翌日、後藤先生から資料とその一部分の写しをいたしました。(私はこの会議に出席していない。)その後、講習会の実施が迫り各学校に案内が配布され、参加校の申し込み、参加可能な専門委員会が相談し、時点で、総務の本島先生が委員長の猪瀬先生に相談し、往復の班編制や講師の割り当てを行つたものと推測する。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 栃木県立大田原高等学校

氏名 猪瀬 修一

下記の事項について記入してください。

- 過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

・私が委員長をしていた過去6年間においては、今回事故が起きた場所での講習は行っていないと思います。それ以前には、1, 2回、今回の事故が起きた場所付近に行ったことがあると思うのですが、はっきりとは覚えていません。警察の事情聴取で、平成19年度の春山講習会で、今回事故が起きた場所周辺で講習を行っている記録写真を見せていただきました。その講習会に私は参加していましたが、そのときそこで講習をしたかどうかはよく覚えていません。(写真にはいくつかの班が講習をしている姿が写っていましたが、私やそのときに引率していったと思われる生徒は写っていなかったので)

・今回、事故が起こってしまった場所で雪崩の危険があるということは認識していました。(その場所の危険性について考えることができませんでした。)スキー場付近については、第2ゲレンデの上部においては、雪崩の危険性があると認識している程度でした。

- H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

・主任講師については、年度初めの顧問会議において菅又教諭(真岡高校)にお願いすることを決定していました。

・他の講師については、2月に実施要項をメールで配信し、3月上旬に参加申し込みが出そろった時点で、今回のとりまとめをお願いしていた本島先生(那須清峰高校)より班分け(各班の講師も入った)の案をいただき、私の方で、講師について今回引率してもらえる先生方の中で経験等を勘案して班分け案(各班の講師を含む)を提示し、決定したと思います。(例年そのような形で行っていました。)

・27日については、3班の講師であった関谷先生(矢板東高校)が公務のため前日に帰っていたので、私が、集合していた先生の中から沢村先生(矢板東高校)に代理をお願いしました。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 栃木県立さくら清修高等学校

氏名 吉澤 順一

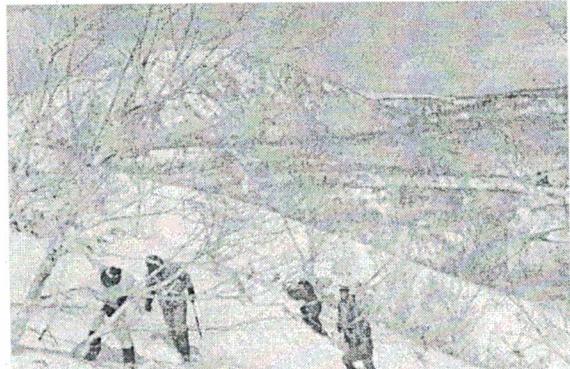
下記の事項について記入してください。

○ 過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

回答①：「今回の3日目の場所」がスキー場のゲレンデを含むものとすれば、過去には第2ゲレンデ向かって左奥の斜面(標高 1,380m 付近)において、第2日目の実技講習を講師として実施したことがある。当時の私の記録によれば、「私が担当した3班は矢板中央高校と足利高校のメンバーであった。足高のA木先生とI藤先生がサポートして下さった。早朝から綺麗に晴れ上がって好天であり、メンバーの生徒たちも皆素朴で個性的なキャラが揃っており、終日楽しく訓練ができたことが何より嬉しかった。写真は、那須ファミリースキー場の上部斜面にて雪上をフィックスロープを伝ってトラバースする生徒たちを眼下に、赤面山とその背後の青空を遠望した一枚。」となっている。



参考：私が関わる7年前からの春山安全登山講習会まとめ

平成21年度(2010)：顧問として参加。2日目の訓練は生徒とともに猪瀬班に随行。
郭公沢最上部での雪崩の発生を左岸より目撃。

平成22年度(2011)：(東日本大震災の発生により講習会は中止)

平成23年度(2012)：顧問兼実技講師として参加した。雪が少なく2日目スキー場周辺で。3日目は荒天のため峠の茶屋までの往復に行動を縮小して実施。

平成24年度(2013)：顧問として参加。雪が少なかった。校務(異動先での打合せ)のため、2日目には不参加。茶臼は一日中雨。3日目の登山行動は計画通り。

平成25年度(2014)：現任校に異動となり、実技講習の講師として参加。

平成26年度(2015)：実技講習の講師として参加。2日目、3日目とも好天。

平成27年度(2016)：実技講習の講師として参加。雪は少なかった。

平成28年度(2017)：実技講習の副講師として参加。3日目校務のため下山。雪崩事故発生。

回答②：今回の雪崩発生まで、天狗の鼻直下の斜面が雪崩の危険性があるというような話は聞いたことがありませんでした。事故後、既に定年退職している県北在住の先輩からは、「俺等が子供の頃には『天狗の鼻には近づくな。』って大人達から言われてた。」という話などを聞いた。

回答③：回答①に割り付けた写真的データを添付します。

○ H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

回答：平成28年4月15日(金)の第1回専門委員会・顧問会議において、下見・総務を本島先生(清峰高)、村長を■先生(矢中央高)、主任講師を菅又先生(真高)が務めることで決定した。同11月24日(木)の第2回専門委員会では、上記役員に加え、内容・日程・講演(講師)等についても確認、協議されたものと推測する。(私はこの会議に出席していない。翌日、後藤先生から資料とその一部分の写しをいただいた。)その後、講習会の実施が迫り、各学校に案内が配布され、参加校の申し込み、参加可能な専門委員が確定した時点で、総務の本島先生が委員長の猪瀬先生に相談し、生徒の班編制や講師の割り当てを行ったものと推測する。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 栃木県立さくら清修高等学校

氏名 後藤尚

下記の事項について記入してください。

- 過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

1. 今回の3日目の場所で訓練を行ったか。

訓練を行ったことがあります。何年前かははっきり記憶しておりませんが、雪の少ない年でスキー場ゲレンデやレストハウス前では地肌が出ていたと思います。通常の場所での訓練には積雪が少なかったため、すべての班がゲレンデ周辺で訓練をしていたと記憶しています。

ルートは添付の地図の通りです。積雪の状態は安定しており雪崩の危険はないと判断し訓練を行いました。

2. 今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがあるか。

聞いたことがあります。何年前かは覚えていませんが、北部の高校の顧問が下見の担当をしていますので、担当者としてスキー場に行き挨拶をした際に、那須町の職員の方かスキースクールの方のいずれかから「雪崩れたことがあるのでそちらには行かないように」と言わされた記憶があります。場所を地図で確認しながらのことではありませんでしたが、天狗岩のある斜面のことだと認識したと思います。また、降雪後には表層雪崩が発生する可能性があるので危険であるとの認識を持ちました。その年の講習会では通常の場所で講習が実施され、その場所では講習を行っては無かったと思います。別の年に、今回の3日目の場所で講習を行っていますが、積雪が落ちていたので雪崩の可能性はないとの認識で講習を行いました。

下見には数回行っていると思いますが、その話を私が聞いたのは1度だと思います。そのときの話を専門委員会等で毎年引き継いでいれば良かったのですが、そうしたことはしていませんでした。

- H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

例年、専門委員および参加校の中の経験の長い顧問が役員・講師を務めていましたが、平成28年度の講師は当時の猪瀬委員長と那須清峰高校の本嶋先生が連絡を取り合い、猪瀬委員長が決定したのではないかと思いますが、確認はしておりません。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 宇都宮東高等学校

氏名 島田 幹男

下記の事項について記入してください。

- 過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

・2007年から6回ほど参加していますが、今回の場所での訓練は行っていません。

・今回の場所では雪崩の危険性は聞いたことがありません。ゲレンデ奥の左手からのデブリ（雪崩の跡）は目視したことがあります。

- H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

・私の場合は所属する宇都宮東高校に山岳部はありませんので、当然どこかの高校に講師として配属されると思っていました。ただ今回は体力的にみて女子隊の講師でお願いしますと猪瀬先生に電話かメールで頼んだと思います。

・今回の計画書を作成したのは原案は那須清峰の本島先生が印刷したと思いますが、原案は猪瀬先生が参加する先生のメンバーを見て、配置をしたのかと思います。

・今回の班ごとの主講師と副講師メンバーはあくまでも26日（日）の講習会用であり妥当な選出と思われます。私は26日に帰ってしまい詳細はわかりませんが、計画書では27日（月）は学校ごとの行動となっていました。当日予定が変更になり、憶測ですが26日の班編制を元に講師を猪瀬先生が決めたのではないかと思います。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 大田原女子高等学校

氏名 荒井 徹

下記の事項について記入してください。

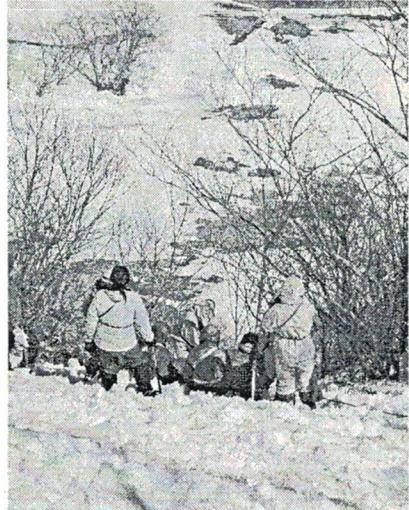
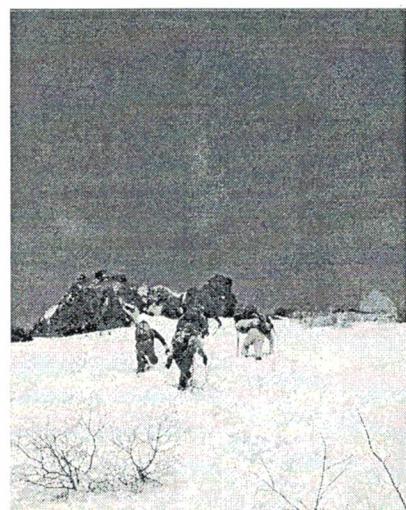
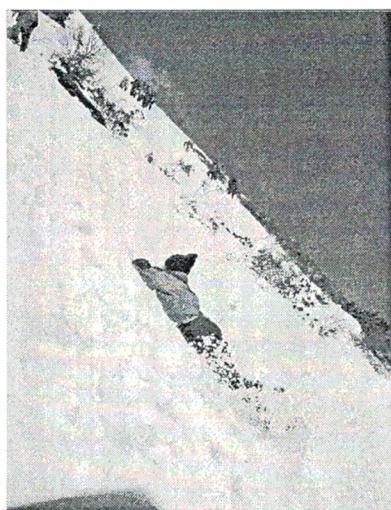
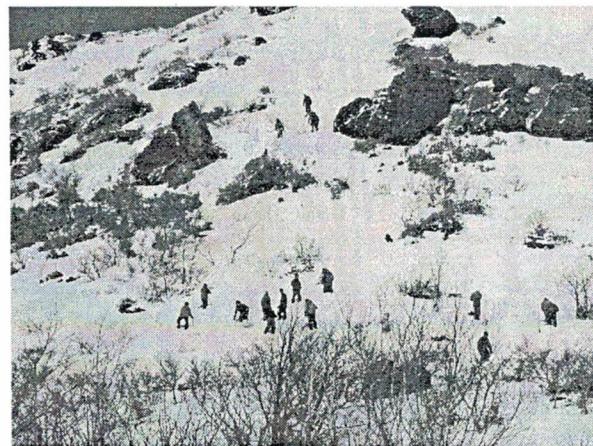
○ 過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

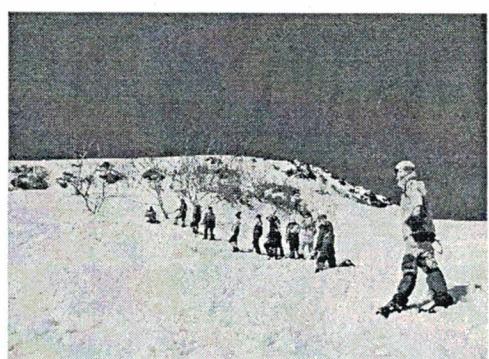
平成19年度の講習会2日目で、今回の雪崩の事故現場付近に行つたことがあります。

登山部報用の写真撮影のため、所属班を離れて、男子が講習を実施している場所まで写真撮影に行きました。男子の講習場所が今回の雪崩事故現場付近であると思います。平成19年度は雪が少なく、郭公沢付近はブッシュが出ているとの情報があったので、スキー場上部の雪の残っている場所を各班で見つけて講習会を行っています。男子は樹林帯上部で、女子は樹林帯の中で講習を実施しました。男子のすべての班が樹林帯の上部で実施したかどうかの記憶は定かではありません。



平成26年度の講習会2日目は、スキー場上部の樹林帯直下で講習を実施しました。残雪がそれほど多くありませんでした。午前中はスキー場上部で講習を行い、午後に峠の茶屋上部に講習会会場を移動しました。

女子隊の講習内容は両年とも、歩行訓練、ピッケルを使っての制動訓練、フィックスロープを使っての歩行訓練を行っています。



今回事故のあった場所について、雪崩の危険性があるとの話は聞いたことはありません。

○ H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

平成29年2月または1月末に、講習会に参加できるかと打診が猪瀬委員長よりメールがありました。校務の都合上参加を見合わせたいと連絡をしましたので、講習会の役員等にはついていません。その後、いつ、誰が、どのように役員・講師を決定したかは承知しておりません。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 栃木県立大田原女子高等学校

氏名 星野記良

下記の事項について記入してください。

過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

○平成26年度だったと思いますが訓練を行ったことがあります。

春山安全講習会の2日目で私が主任講師、当時真岡女子校の顧問だった荒井徹先生と小林朋生先生が同じ班で、受講生は真岡女子高校の生徒たちでした。

女子隊ということあり「雪山に慣れ、補講技術を身につける」ということを主な目的にしたので訓練はスキー場で実施しました。前半はゲレンデ内を広範囲に歩行しました。そして慣れてきた後半に、キックステップの訓練のため一本杉より低い場所の第2ゲレンデから樹林帯に入り、樹林帯を少し登ったと記憶しております。

○今回雪崩が起こった場所での雪崩の危険性については、私は聞いた記憶はありません

○ H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

今回は私用で参加できなかったこともあり、経緯はわかりません。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 宇都宮高等学校

氏名 池間 明徳

下記の事項について記入してください。

- 過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

質問①：今回の3日目の場所で訓練を行ったことがあるか。

回答①：震災前だったと思うが、講師として第1ゲレンデの斜面で初心者グループの実技講習を行った記憶がある。当時他の班がどこで講習をしていたかは不明。

それ以外は、ここ十年、実技講習はほとんど郭公沢周辺で行われていたと思う。
事故現場については講習場所としても今まで話題になった記憶はない。

質問②：今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがあるか。

回答②：聞いたことはない。

- H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

講師決定の場に立ち会ったことはないので詳細は不明であるが、参加申し込み名簿とともに、経験などを考慮して本部が講師と担当する班を決めていたと思われる。その際、委員長や専門委員が合議したのか委員長判断だったのかはわからない。

ほとんどの場合、現地に集合して初めて講師になっているかがわかる状態であり、装備の準備や指導内容を復習しておく必要から、事前に連絡が欲しいと思ったことがあった。

二名以上の引率が求められているので、一人は講師、もう一人は生徒と一緒に班で講習の補助にあたることが多かったように思う。

春山安全登山講習会に関する確認事項

学校名 栃木高校

氏 名 渡辺浩典

下記の事項について記入してください。

- 過去の春山安全登山講習会において、今回の3日目の場所で訓練を行ったことがある場合は、具体的な時期や場所、内容等を記入してください。

また、今回の場所について、雪崩の危険性がある旨の話を過去に聞いたことがある場合はいつ、誰に、どこでどのような内容を聞いたか記入してください。

なお、関係する資料等があれば御提出をお願いします。

・ 12年以上前（自分が専門委員長に就任する前）、
樹林帯からその上部（おそらく自分が引き返した地点の少し上部）において、
キックステップなど歩行訓練と滑落停止を実施したと思う。

・ 自分が雪崩の危険性を認識していた第2ゲレンデ横の斜面については、
いつかはわからないが、雪崩が起きた跡を見た記憶がある。

・ また、上記と同じ時のことかと思われるが、以下のことは記憶になかったが、警察でFAXのコピーを見せられた。下見に行った先生（当時矢板中央の[]先生）から雪崩が起きて危険なので、スキー場内には立ち入らないようにと役場あるいはスキー場の方から言わされたとの報告をFAXで委員長である私が受けているようである（警察でコピーを見せられるまで記憶にはなかった）。

- H28年度春山安全登山講習会の講習会役員・講師について、いつ、誰が、どのように決定したかを具体的に記入してください。

・主任講師については、平成28年度第2回専門委員会において決定したと思われる。

・ その他の講師については、講習会への参加申し込み後に、専門委員長と講習会総務担当によって決定されたと思う。

※ 平成29年9月22日（金）12時までに御提出をお願いいたします。

スポーツ振興課 高橋宛て TEL028-623-3415 FAX028-623-3411
t-takahashit03@pref.tochigi.lg.jp